



男女共同参画情報誌

# あなたとわたし

vol.64

性別や年齢、国籍などの違いを超え、平等にともに手を携える関係でありたいから

特集

## ボランティアと男女共同参画

～私たちそれぞれができること～



### 「あなたとわたし」デジ版について

目の不自由な方で、デジ版CD版「声のあなたとわたし」を希望される方に配布しますので、ご希望の方はお申込みください。

【問合せ】福生市生活環境部協働推進課  
電話 042-551-1590

ライフスタイルは、人により様々です。一生の中では、とても多忙な時期もあれば、ある程度、ゆとりが持てる時期もあることでしょう。働き方や生活スタイルの変化によって、ゆとりの時間ができた方もいることでしょう。もし、新たな時間が生まれたら何をしてみたいですか？自分のために、家庭のために、それともボランティアなどの社会貢献のために…？今回は、ボランティアと男女共同参画について考えます。

# 特集 ボランティアと男女共同参画 ～私たちそれぞれができること～

支援を必要とする人に何かできれば、という思いから、令和3年の秋、2つの新しい団体が立ち上がりました。

そこには、強い志とあふれるボランティアの精神がありました。

どんな活動をしているのでしょうか。そしてその中に、どのような形で男女共同参画はあるのでしょうか。この2つの団体に聞いてみました。

## フードバンクふっさ 代表：下村さつきさん

### Q どんな活動をしているの？

経済的事情等により、支援を必要とする個人・世帯に対し、直接食品等を無償提供する中で、生活上の困りごとを、適切な相談支援機関等につなぐ活動をしています。

### Q 活動のきっかけは？

コロナ禍により生活が苦しくなった方への炊き出しなどのニュースを見たり、職場で様々な問題を抱えている方に接することが度々ありましたが、どうしたら支援できるのか手段が分かりませんでした。そうした中、輝き市民サポートセンターが募集した「地域デビュー応援隊」のメンバーとなり、その活動の中で、関心のある仲間が集まり、「フードバンクふっさ」を設立することになりました。一人では、どのように進めればよいか分かりませんでした。FVAC（ふっさボランティア・市民活動センター）から指導していただき、スピーディーに形となっていきました。

### Q 団体の中での男女共同参画は？

当団体は、男性、女性ともに幅広い年齢層のメンバーで運営をしています。

知識や経験を活かした食料の調達、食料の運搬、生活支援の提案など、それぞれが得意なことを活かし、お互いを尊重して活動を行っています。

### Q この活動を行って…

この活動を始めて、地域の方や他団体からも声を掛けられたり、支援の輪が広がってきていると感じています。行政の手が届かない所への援助ができるだけでなく、人と人とのつながりや支え合いなど、市民の力で地域を良くしていくことができる、そうした活動に参加でき、とてもやりがいを感じています。



調達した食料を車で運びます。



食料をお渡しする場所です。



## こども食堂ほっとスペース いちろうずキッチン 代表：高橋一郎さん

### Q どんな活動をしているの？

子どもたちが遊んだり、勉強したり、食事をしたり、安心して過ごすことができる居場所をつくることを目的とした、大人と一緒に楽しめる、子ども達とのふれあいの場所です。

### Q 活動のきっかけは？

地元の同級生が集まって始めました。仕事も落ち着く年齢となり、「子ども食堂」をやりたいと思っていたところ、できる範囲でやろう、と仲間たちも賛同してくれました。

なかなか世話をしてもらえず、給食だけで食事をとっているという子の話を聞き、それならば、ここに来て遊んだり勉強したり、食事してもらえればと思い、家をリフォームして、一階は子どもたちのために使えるようにしました（高橋さん宅）。必要なものは買い揃え、思い立ったらどんどん行動しました。

### Q 団体の中での男女共同参画は？

食料の調達、各種手続きや交渉ごと、食事の準備や子どもたちの面倒を見たりなど様々ありますが、お互いに意見を出し合い、男女ともに協力しながら活動を行っています。

また、調理師、栄養士、保育士等の資格を持つメンバーがいるため、それぞれの資格を活かしながら運営に携わっています。

### Q この活動を行って…

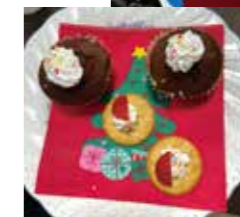
昔と違って現在は、子どもたちが大勢と一緒に遊ぶ機会がほとんどなくなってしまいました。一緒に過ごせるスペースを作ることで、それまで「個」で遊んでいた子どもたちが、お兄さんやお姉さん、小さい子など、年齢差による役割分担もできて、うまく調和がとれていると感じています。食事も皆ですと楽しいし、美味しい、そうした場所を作り、子どもたちに必要としてもらえることは嬉しいです。



「いちろうずキッチン」の仲良しメンバーです



クリスマスはサンタに変身しました。



クリスマス会の手作りおやつです。

## FVAC（ふっさボランティア・市民活動センター）について

「福生には、自分のできる形で社会貢献をしたいと思っている人はもっといると思います。何かしたいけれど、何から始めれば良いか、また、仲間がいるのか分からない。そうした時には、FVACに相談すると力になってくれると思います。」2つの団体は、そのように話していました。また、FVACは、この2つの団体が協力し合えるよう、つなぎ役となってくれました。何かできればと思いを抱いている方、FVACは福祉センターの1階にあります。ぜひ、ご相談ください。



## 取材を終えて…

どちらの団体も、同じ志を持った仲間が、それぞれ得意な分野を活かし、補い、協力し合いながら会を運営していました。自分たちの思いをどうしたら形にできるか…そして、つなぎ役の果たす役割など、取材を通して様々なことを知る事ができました。

福生に新しい活動や支援の輪が次々と生まれることを願っています。

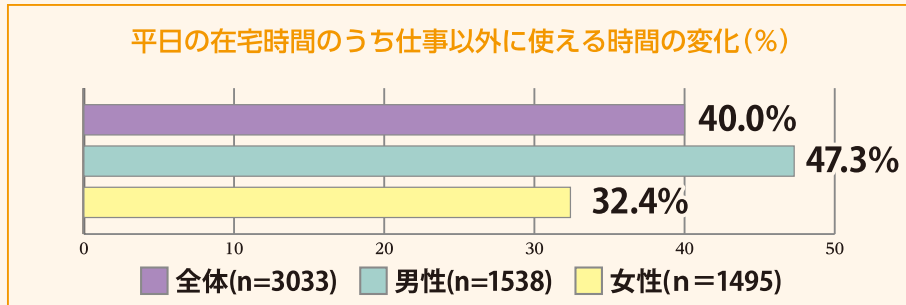
## 〈お知らせ〉「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」の用語解説について

あなたとわたし63号で、用語の解説をいたしました。内容が不十分でしたので次のように訂正いたします。

**リプロダクティブ・ヘルス/ライツ**：1994年にカイロで開催された国際人口開発会議（ICPD）において提唱された概念で、今日、女性の権利の重要な一つとして認識されています。日本語では、「性と生殖に関する健康と権利」と訳され、生涯にわたって身体的、精神的、社会的に良好な状態であることを「リプロダクティブ・ヘルス」といい、その状態を享受する権利を「リプロダクティブ・ライツ」といいます。安全で満足のいく性生活を営めることや、子どもを産むかどうか、産むならばいつ、何人産むか等を女性が自ら決定する自由を持つことを含みます。

# リモートワークが変えた生活スタイル ～東京都の調査結果より～

コロナ禍により、社会ではリモートワーク化が急速に進みました。それによって、私たちにはどのような影響があったのでしょうか。東京都が令和3年6月に行った調査によると、配偶者がいる方で、平日の在宅時間のうち仕事以外（家事、育児、趣味、睡眠等）に使える時間を、コロナ禍以前と直近1か月を比べた所、「増加した」と答えた人の割合は40.0%でした。



令和3年度男性の家事・育児参画状況実態調査より  
 ※対象：都内在住の18歳以上70歳未満の男女(標本数5,000)

「増加した」と回答した人で、「家事」にかかる時間が「増加した」と回答した人は、全体で83.6%、男性は87.3%、女性は78.2%で、「育児」にかかる時間が「増加した」と回答した人は、全体で76.9%、男性は88.1%、女性は58.9%でした。

この結果から見ると、主に男性が、家事・育児に大きく関わる機会となったと考えられます。また、家事・育児時間が増加した理由は、「通勤時間や残業など仕事にかかる時間が減ったから」が最も多い結果でした。リモートワークが浸透し、自身や家庭の生活を見直すことができるようになり、男性の意識や行動の変化が見られました。

## 「女性に対する暴力をなくす運動」のPRを行いました

毎年11月12日から11月25日の2週間は「女性に対する暴力をなくす運動」実施期間です。この間、市役所1階にコーナーを設置し、啓発用DVDやポスター、資料等の展示を行い、女性に対する暴力の問題を考える機会としました。暴力は、その対象の性別や加害者、被害者の間柄を問わず、決して許されるものではありません。特に、配偶者からの暴力、性犯罪・性暴力、ストーカー行為、売買春、人身取引、セクシュアルハラスメント等、女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するものであり、男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき重要な課題です。



▲市役所1階特設コーナーでの展示  
 ◀女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

### 企画・デザイン・印刷

有限会社

**あっぷ**  
印刷工房

Tel. 042-539-7685  
 Fax. 042-539-7686  
 mail. upf-2@tbe.t-com.ne.jp

### 「あなたとわたし」の編集員を募集しています!



誌面の企画や編集、また取材などに興味がある方、何かやってみたい方! 経験は問いません。(無償ボランティアです。) ご意見、情報もお待ちしています!

問合せ

福生市 生活環境部 協働推進課 電話 042-551-1590

### 編集後記



●支援を必要とする人が、社会生活の中に隠れてしまい、分かりづらい場合も多くあります。そうした方たちに、どうしたら手を差し伸べられるのか。男女ともに知恵や力を出し合いながら支援を行う姿に、胸が熱くなりました。

..... [M]

### 市民編集員

郡司 綾子、田中 直美、正木 直美 (50音順)  
 作製・編集：(有)あっぷ印刷工房

あなたとわたし vol.64 2022年3月発行

発行：福生市 生活環境部 協働推進課  
 〒197-8501 東京都福生市本町5番地 電話042-551-1590  
<http://www.city.fussa.tokyo.jp/>

